



■白陵会事務局 〒676-0827 高砂市阿弥陀町阿弥陀2260(白陵高等学校内) TEL.079(447)1675(代) FAX.079(447)1677
URL:http://www.hakuryokai.jp E-mail:info@hakuryokai.jp

2010 白陵会総会
11月21日(日) 開催
会場：白陵高等学校

総会でお会いしましょう!
深めよう! 同窓の絆

白陵会総会は5年に一回の開催です。
総会に合わせて同期・クラブ等で
同窓会を企画されてはどうでしょうか。



白陵会総会は1985年(昭和60年)20期生が巣立ったのを機に第1回総会を開催して以来6回目となりますが、今回は新しく生まれ変わった校舎見学を兼ねて久しぶりに母校で開催いたします。宮崎陽太郎総会準備委員長(11期)を中心に鋭意準備を進めておりますので、懐かしい母校に集い、恩師や旧友との語りいで「白陵で共に過ごした時」を蘇らせていただきたいと思っております。

※懇親会ではアルコールを準備しますのでJR等を利用して来校ください。お車で越越しの場合はノンアルコールでお願いします。

白陵会総会

とき
平成二十二年十一月二十一日(日)
午前十時～午後二時三十分
受付開始 午前九時三十分

参加費
一期～三十九期 …… 五、〇〇〇円
四十期以降 …… 三、〇〇〇円

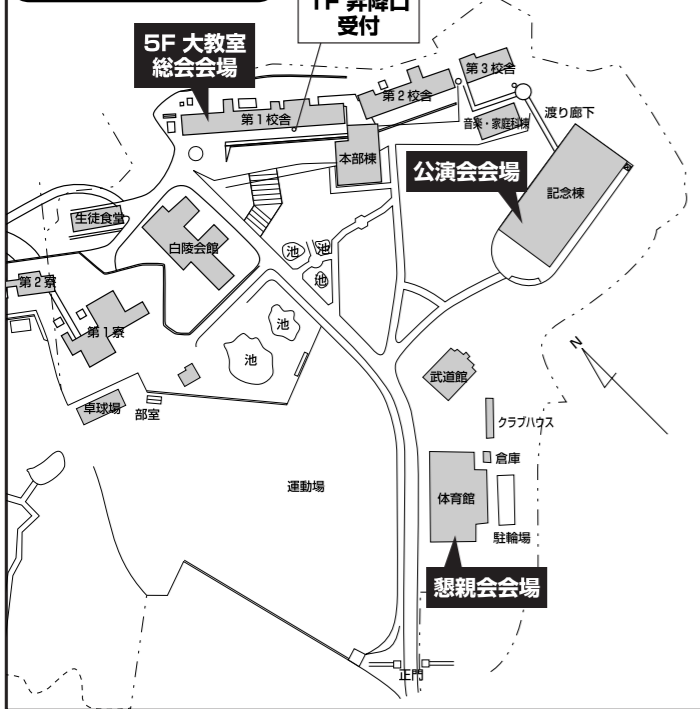
◆若い卒業生にも参加して頂きやすいよう、期別に会費を設定しました。ごうぞご理解の上、たくさんのご参加をお待ちしております。



⇒ 総会プログラム ⇒

- 9:30 受付開始(昇降口)
- 10:00~10:30 総会(大教室)
 1. 開会の辞
 2. 黙 祷
 3. 会長挨拶
 4. 来賓挨拶
 5. 事業報告
 6. 閉会の辞
- 10:50~12:10 公演会(記念棟)
 1. 落語 桂阿か枝氏
 2. ピアノ 鯛中卓也氏
 3. 白陵生徒会挨拶
- 12:30~14:30 懇親会(体育館)
 1. 開会の辞
 2. 来賓挨拶
 3. 乾 杯
 4. 母校近況紹介
 5. アトラクション
 6. 校歌・白陵歌斉唱
 7. 閉会の辞
- 14:30 閉会

各会場案内図



◆公演会には、ご家族の方もご参加いただいて結構です。参加ご希望の方は、出席返信ハガキの家族欄にご記入ください。なお、懇親会は会員のみで行いますので、ご家族はご遠慮ください。

同封の出欠返信ハガキ(料金受取人払)は、**10月20日(水)まで**にご投函下さい。尚、近況報告や住所・氏名等に変更のある方は表面の「通信欄」にご記入をお願いします。

初秋の候、会員の皆様方には
 ますますご隆昌のこととお慶び
 申し上げます。平素は本会活動
 にご協力を賜り誠にありがとうございます
 でございます。

昨年十一月二十八日、前日ま
 で元気に仕事をされていた吉田
 卓校長が急逝されるといふ予想
 だにできなかった大変悲しい出来
 事が起こりました。長年にわた
 り白陵の発展に寄与された先生
 のご功績に深く敬意を表します
 と共に心よりご冥福をお祈り申
 し上げます。その後急遽、後を
 継がれた斎藤興哉校長（前副校
 長）のベテランらしい絶妙の舵
 取でこの悲しみを乗り越え、職
 員・生徒・保護者が新たな気持
 ちで新年度を迎えることができ
 大変安堵しております。

また、昨年は五年振りの白陵
 会名簿発行にご協力を賜り誠に
 ありがとうございます。お陰
 様で多数の協賛広告も得て、一
 期生から四十四期生まで七、五
 一三名を収録した堂々の名簿を
 発行することができました。全

総会で
 お待ちしております



会長
 沼田 好道

全国各地で活躍されている会員の
 住所を正確に把握し、定期的に
 名簿を発行し会報をお届けする
 ことは、あらゆる意味で同窓会
 活動の原点です。会員の皆様方
 におかれましては、今後とも一
 層のご理解とご協力を賜りませ
 ようお願いいたします。

さて、ご案内のとおり、来る
 十一月二十一日（日）には五年
 毎開催の二〇一〇年白陵会総会
 が開催されます。今回の総会
 は久しぶりに母校での開催とな
 ります。旧校舎の面影を残しなが
 らも近代的な威容を誇る新校舎
 群、新築となった母校で懐かし
 い恩師や旧友との再会に心が弾
 み今から待ち遠しい気がしてお
 ります。楽しい企画で懐かし
 一時を演出いたしますので、ぜ
 ひお誘い合わせの上、お気軽に
 多数ご出席くださいますようお
 待ちしております。

また、本会では、このたびの
 母校の校舎建替という一大事業
 に際し、母校の健全な発展を願
 う卒業生の気持ちを集約して目
 標額を5000万円と定め、会
 員の皆様に継続して寄付の願
 いをするることによって母校支
 援の輪を広げたいと念願してお
 ります。会員諸氏のますますの
 健康とご活躍をお祈り申し上げ
 ますと共に、一層のご支援とご
 協力を切にお願ひ申し上げます。

母校飛翔の礎となる新校舎建築に
 今こそ同窓生は熱いご支援を

校舎建替 寄付金募集要項

本寄付金募集は、白陵会が白陵会員を対象として行います。

目標額 5千万円

募 金 1口1万円

なるべく複数口のご協力をお願いします。

ただし、1口未満でもありがたくお受けします。

申込方法 同封のゆうちょ銀行払込取扱票によりお払い込みください。

口座番号：神戸01160-9-45040

加入者名：白陵同窓会

※領収書はゆうちょ銀行の郵便払込金受領書をもってかえさせていただきますのでご了承ください。

※この寄付金は減税措置を受けることができます。

個人がその年に支出した寄付金の額が2万円を超える場合には、その超えた金額について、その年の課税所得金額から控除されます。但し、寄付金額が年間所得の40%を上回る場合は40%が限度となります。

寄付金控除額=寄付金額-2万円

減税措置を受ける手続きは寄付された翌年の確定申告で行いますが、その際、領収書及び特定公益増進法人であることの証明書(写)が必要です。この証明書写が必要な方はゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に証明書必要とお書き添えください。

校舎建替寄付金応募状況

平成18年10月~平成22年5月

期生	応募額(円)	期生	応募額(円)
1	420,000	24	130,000
2	1,700,000	25	360,000
3	960,000	26	70,000
4	160,000	27	80,000
5	480,000	28	60,000
6	505,000	29	230,000
7	200,000	30	75,000
8	150,000	31	235,000
9	470,000	32	130,000
10	433,000	33	130,000
11	1,160,000	34	220,000
12	630,000	35	120,000
13	480,000	36	80,000
14	255,000	37	125,000
15	840,000	38	41,234
16	80,000	39	140,000
17	340,000	40	115,000
18	375,000	41	110,000
19	295,000	42	160,000
20	270,000	43	30,000
21	280,000	44	10,000
22	60,000		
23	120,000	合計	13,314,234

公演会

Profile



鯛中卓也 (42期生)

- 1995年 ヤマハジュニアピアノコンサート金賞。
- 1997~1999年 ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会において、B級ベスト賞、C級入選、これにより1998年ハンガリーにて、ジャパンウィークブダペスト演奏会に出演。2002年E級銀賞及びロイズ賞、2003年Jr.G級優秀賞、2005年特級銅賞及びロイズ賞。
- 2000年 兵庫県学生ピアノコンクールC部門優秀賞。同コンクール10周年記念コンサート出演。
- 2002年 全日本学生音楽コンクール大阪大会中学の部第1位。
- 2003年 兵庫県主催ミュージックグランプリフェスティバルに出演。
- 2003・2004年 第8・9回浜松国際ピアノアカデミー受講。
- 2004年 白陵中学校卒業。
エトリンゲン青少年国際ピアノコンクールB部門(20才以下)奨励賞。堺国際ピアノコンクール第2位。フランスにて、グランド・ナンシーアカデミーに参加し、ジョイントリサイタルに出演。
- 2005年 金昌国指揮大阪チェンバーオーケストラと共演。
- 2006年 神戸にて、ソロ・コンサートを開催。
- 2007年 白陵高等学校卒業。
ブラジルにて、クラウディオ・クルス指揮、リベランプレート交響楽団と共演。
- 2009・2010年度ヤマハ音楽支援制度奨学生。

これまでにクラウディオ・ソアレス、武田真理、伊藤恵、堀洋子の各氏に師事。現在、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻に在籍。



桂阿か枝 (25期生)

- 本名 岸本浩一(きしもとこういち)
- 1990年 白陵高等学校卒業。
- 岡山大学卒業後、一年半のサラリーマン生活を経て
- 1996年 5代目桂文枝に入門。最後の弟子になる。明石の出身ということから、阿か枝と命名される。奈良県河合町にて初舞台。
- 2006年 なにわ芸術祭・新人奨励賞受賞。
- 2009年 なにわ芸術祭・新人賞受賞。

現在、大阪・明石・岡山など各地で落語会を開催し、落語に日々精進している。また、上方落語に不可欠な鳴り物、笛の修行にも余念がなく、それぞれ本職の師匠に師事し、熱心に取り組んでいる。

主な会は、「めふ乃寄席」「紅雀と阿か枝」「三人寄れば何とかなる会」「桂阿か枝の落語会」「文華・福矢・阿か枝三人会」など。



今年の総会は学校での開催ということで白陵卒でも異色な分野で活躍の2人による公演。
 また、公演会での司会は、全国大会でも活躍した現役の白陵放送部員が！乞うご期待！



理事長 三木 一 正

ご挨拶

今年程真夏日が話題にならないことはなかったのではないのでしょうか？と書きだしたら即座にお前この暑さで頭がおかしくなっただんじやないかといわれてしまいそうな気がします。それ程までいっただる様な猛暑日の続く記録の連続が、強烈に印象づけられた今年の夏の暑さであったといえましょう。

同窓会会員の皆さん、お元氣ですか。日頃は新校舎建替寄付金を始め、何かと本校のためにご支援を賜りましてありがとうございます。

この暑さのなか生徒たちは例年通り正規の補習のほか特に高3生は世間でお盆休み数日を除いては校舎で自主学習に取り組んでいます。加えて寸暇を惜しんでクラブ活動や白陵祭の準備に、炎天下をものともしないタフさには驚かされています。時々初めての来校者の方からの質問に戸惑わされることがあります。「白陵には女の子(生徒)がいるんですか?」「クラブ活動があるんですか?」といった信じられない種類のお尋ねで

す。自分としては「白陵」は世間でよく知られていると思っただけに啞然としてしまいます。つまり白陵というのは勉強ばかりしている学校でクラブ活動などするわけがないというのが本校の昔ながらのたんに恐い、厳しいというイメージの様です。何とか現在の「白陵」の現状を正しく吹聴していきたくと思っています。

久しぶりに別項にもある通り十一月に白陵会総会が開催されると聞いています。皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。

ところで昨年十一月、現職校長であった吉田卓先生が急逝され学校としては先生の存在が大きかっただけに、その上多くの生徒・卒業生に慕われていた先生だっただけに、残念の極みです。後任には副校長であった齋藤興哉先生に継いでいただき、学校はやっと冷静さを取り戻したところでは。

学校も来る平成二十四年、創立五十周年を迎えます。現在の卒業生は七六八四名、記念の年には八千名を超える予定です。その時には「白陵」の更なる飛躍を期したいと考えています。最後になりましたが、先輩諸兄弟のご健勝とご活躍を祈念し、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻の程お願い申し上げます。ご挨拶といたします。



校長 齋藤 興 哉

ご挨拶

昨年十一月末に吉田前校長が急逝され、そのため一月から校長職を命じられた齋藤興哉です。もとより浅学非才で、とてもこの大役は担えそうにありませんが、何とかがんばらなければならぬと自分に言い聞かせております。白陵会の皆様には常々さまざまな形でご支援をいただき、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

さて、異常としか言いようがない今年の暑さですが、それ以上に異常でしか見え過ぎたこと、この夏大きく浮かび上がりました。「消えた高齢者」の問題です。この本質はそれ以前のひととのつながりの希薄化です。日本人はもともと集団的な発想が普通で、家や会社、地域の意識が強く、それが個人の言動に歯止めをかけたたり、お互いに面倒を見合ったり、わずらわしさを感じたりしながら生活してきました。良くも悪くもそれが日本の生き方でした。それが大きく変わってしまったのがこの数十年です。よく言えば自立ですが、お互いのかかわり方が薄くなってきたのです。翻って、同窓会なるものは、所属意識というのが人間には常

に付きまといますから、その大切さが失われることはないでしょうが、それでも、どこの同窓会名簿にもいつも居住不明の者の名前が記されています。つながり合うことで自らの存在を確認する生き方をしてきた私たち日本人は、やはり所属することの重要性をもっと意識していいのではないかと考えます。例えば、激しい雨や寒暖が日本の気候、ひいては日本の自然を作っているのだと考えると、すなわちそれらが私たちの人生そのものだということであり、つながりの一面のわずらわしさもそういう観点で理解すべきではないかと思っております。

一方、「居住不明」とは対照的に、白陵生ここにありと天下に示す活躍をしてくれる生徒も大勢います。日本地学オリンピック1位になり、インドネシアでの世界大会に出場する高2の男子、全国高校IT・簿記選手権のF E部門で個人優勝を飾った高2の男子、NHK杯放送コンテストの朗読部門で1位になった中3の女子、日本化学グランプリで大賞を受賞した高3の男子等々。これらの結果はもちろん本人の努力によるのですが、白陵という環境、多くの生徒とのつながりの中から生まれたものであることを、私は頼もしく思っています。白陵会の皆様には、今後ともこういう生徒の姿を見守っていただきますようお願いいたします。

吉田卓校長逝去

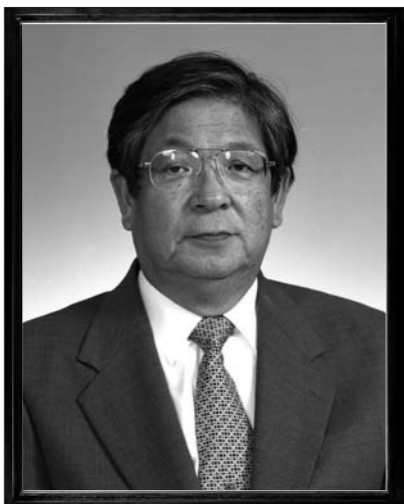
平成二十一年十一月二十八日に急性心筋梗塞のために逝去されました(享年六十一歳)。当日は朝から授業・会議をこなされ、夕方からの育友会役員会でも元気に挨拶等をされておられました。急に倒られ手当のいかにもなく急逝されました。

吉田卓先生は、神戸大学理学部卒業後、昭和四十七年四月に白陵中学校・高等学校に物理担当の新進気鋭の教師として着任されました。

爾来、担任、学年主任、教務部長、高校部長を歴任され、平成十六年四月からは第六代校長として、創設者三木省吾先生の建学の精神を今日の白陵に生き生きとした形で実現させるべく、学校経営に全力を注いでこられました。

葬儀・告別式は十二月一日、加古川大和会館で卒業生、教職員、在校生、保護者、私学関係者の方が多数参列され、しめやかに営まれました。また、平成二十二年一月三十日には在校生を中心とした「吉田卓先生を偲ぶ会」が学校で執り行われました。

先生の在りし日のお姿を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



追悼

教頭 川副義文

平成二十一年十一月二十八日夜、突然その悲劇は起こりました。

私の眼前でいきなり倒れ、大丈夫か?との問いに、大丈夫。

少し苦しいから(身体の)向きを変えて...という言葉を最後に、深い眠りについてしまいました。

平家物語に「生者必滅、会者定離」ということばがありますが、あまりにも唐突に訪れた「その時」に私は茫然自失、ただ啞然として悲しみの情すら失ってしまいました。

それから十ヶ月が過ぎ、今ここで追悼文を書いていても、校長室からあの人なつこい顔に笑みを浮かべ歩いて来られるような錯覚を抱いています。吉田先生

と私は共に昭和二十三年のいわゆる「団塊の世代」の生まれ。自然のいろいろな事・物に対する価値観も

似かよっており、「泰然自若」型の吉田先生、「軽拳妄動」型の私という性格、行動パターンの違いこそあれ、若い時から不思議とウマが合い、何でも忌憚なく話し合える仲でした。

吉田先生が教務、私が生徒、そして山本洋一先生が進路の各部長の頃、理事長より「近未来の白陵はどうあるべきか」という課題を与えられ、三人で何度も喧喧諤諤の論議を戦わせた事は今でも楽しい思い出となっています。それまで「白陵」という組織の中で漫然と過ごしてきた、つきつめて考えてこなかった事を熟慮しなければならぬ立場におかれ、いろんな事が見え始めました。そのなかで吉田先生は、これまでの教科指導を見直し、指導内容の「幅」と「深さ」を重視し、いかにして生徒の知的好奇心を喚起し、創造性を培うかというテーマに取り組みされました。校訓にもある「研究と訓練」の真髓を実践しようとしたのです。各先生方に自己研鑽を求め、ことも多大になる為、各所で根気よく説明を行って、理解を求め、日々腐心されていた姿が、今でも偲ばれます。この方針は現在も脈々と受け継がれて白陵の発展に大きく寄与しており、吉田先生の大きな功績の一つであると私は思っています。

校長に就任された時、永年の喫煙の習慣を止め、さらに車通勤を列車通勤に変えられました。覚悟

を形で表し、自らを鼓舞しようとしたのではないかと考えられます。

その大きな身体とにこやかな表情で、様々な事柄にも平然と対応されていたように見えたが、その内面は、白陵という重い看板を背負うプレッシャーに押しつぶされそうになっていた時もあったようです。よく私を校長室に呼んで、悩みを打ち明けた時、自分の言動や方針にまちがいが無いか、意見を求められ、日々の懸案処理の是非の確認をされていました。その後、互いの私生活や趣味の話などたわいもない雑談に移り、すつきりとした表情で自席に戻るといふ事が何度もありました。後に奥様からお聞きしたのですが、(職場で様々な重圧を感じていたにもかかわらず)家庭では仕事の話は一切しないので、学校で何をしているのか全く知らなかったということ、その話の中からは、ひたすら奥様や子供を愛し、淡々とした日常生活を送る姿しか想像する事ができませんでした。帰宅した時の表情で、「今日、学校で何かあった」と女房、子供にすぐ気取られる私とは大違い。本当に大きい人物でした。校長に就任して六年目。その素養に益々磨きがかかり貫禄を備えた名校長の道を歩み始めた矢先だっただけに残念でなりません。吉田先生、将来貴君は白陵をどのように成長させてくれたのでしょうか。今はただ、御冥福をお祈りするのみです。

平成22年 大学入試合格者数

国公立大学							
大学名	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
東京大	32	21	24	24	19	19	21
京大	24	14	22	18	15	17	18
大阪大	28	14	8	12	25	29	24
神戸大	21	21	14	15	19	24	19
北海道大	6	4	5	5	7	3	2
東北大	2	1			2		
一橋大	5	4	6	8	3		4
筑波大	1	2	1	2	1		1
横浜国立大	2		5	3	1	1	
名古屋大	2	2		1	3		4
岡山大	18	7	4	7	6	5	6
広島大	2	4	1	3	3	5	5
九州大	1			1	1	5	2
大阪市立大	4		3	4	3	7	6
大阪府立大	9	4	6	3	9	3	3
その他	61	48	46	58	44	67	55
合格者計	218	146	145	164	161	185	170
(内医学部医学科)	(42)	(37)	(32)	(40)	(25)	(34)	(37)

私立大学							
大学名	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
早稲田大	33	22	21	31	38	20	24
慶應義塾大	42	21	13	25	31	24	30
上智大	1	1	1	2	8	1	1
中央大	16	8	7	7	12	10	25
東京理科大	9	4	13	8	3	3	12
関西学院大	30	23	27	19	29	16	18
関西大	16	9	15	5	9	5	10
同志社大	23	12	20	30	34	19	27
立命館大	38	27	34	31	28	24	22
近畿大	4	2	7	7	4	4	1
大阪医科大	2	3	4	4	4	8	4
兵庫医科大	2	3	7	3	7	8	7
京都薬科大	2	4	6	3	5	4	5
神戸薬科大	6	10	7	9	5	4	4
その他	48	47	54	41	41	69	37
合格者計	272	196	236	225	258	219	227
(内医学部医学科)	(10)	(18)	(23)	(11)	(26)	(38)	(20)
卒業生数	184	176	174	171	181	191	171

国公立大学集計に準大学を含む

白陵会役員名簿

役名	期	氏名	役名	期	氏名	役名	期	氏名
会長	3	沼田好道	常任幹事(総務)	16	田中正一	常任幹事(総務)	38	堀素史
副会長	2	湖中明憲	"(総務)	18	秋田直樹	"(総務)	39	猪股久美子
"	3	天野泰文	"(総務)	19	牛尾英樹	"(総務)	39	根木厚
"	6	上田喜裕	"(総務)	21	河合恵介	"(総務)	40	赤澤剛
理事(研レ委員長)	3	神吉裕資	"(総務)	22	新田智弘	"(総務)	40	山本祥子
"(研レ副委員長)	4	森崎晴知	"(総務)	22	野津康弘	"(総務)	41	山本梨加
"(研レ)	5	橋本義仁	"(総務)	23	中里寛	"(総務)	41	脇田直人
"(総務)	9	村角伸一	"(総務)	24	奥本光廣	"(総務)	42	賀川拓哉
"(総務)	10	吉田達哉	"(総務)	24	藤原省悟	"(HP)	42	宮崎はる香
"(広報委員長)	10	下村康夫	"(総務)	25	多根正明	"(総務)	43	片岡寿平
"(広報副委員長)	11	志方正彦	"(HP)	26	大西康記	"(総務)	43	野瀬彩弥
"(校内幹事総)	11	宮崎陽太郎	"(総務)	27	山田将義	"(総務)	44	立田裕昌
"(HP委員長)	19	尾上尚樹	"(総務)	28	柿本晴彦	"(総務)	44	三木綾子
"(総務)	20	石井秀武	"(総務)	28	松本守弘	"(総務)	45	三浦学登
"(研レ)	6	大崎章快	"(HP)	29	岡田康裕	"(総務)	45	向原沙紀
"(広報)	15	町田直隆	"(総務)	29	浜田賢太郎	校内幹事(広報)	1	芳木健憲
"(会計・総務)	10	加藤雅宣	"(総務)	30	上新貴弘	"(総務)	2	大内義博
書記(総務)	17	岡野清和	"(総務)	31	酒井雅史	"(総務)	3	長濱雄
会計監査(広報)	23	三木健史	"(総務)	31	木下智晴	"(総務)	3	黒田洋
"(HP)	36	近藤理恵	"(総務)	31	村山稔	"(総務)	6	福井孝昌
常任幹事(総務)	1	芝本真須美	"(総務)	32	酒井勇人	"(総務)	11	小紫一貴
"(総務)	1	武田久美子	"(総務)	32	小澤有紀子	"(総務)	12	畔上昇
"(総務)	1	正井和野	"(総務)	33	藤井拓郎	"(総務)	12	山口透
"(総務)	4	岸本和男	"(総務)	33	北尾由美子	"(総務)	12	中村大吾
"(総務)	5	塩崎育男	"(総務)	34	八尾晋典	"(総務)	14	久保博彦
"(総務)	7	萩本義郎	"(総務)	34	牧野琢丸	"(総務)	15	村上幸生
"(総務)	8	山戸敏彦	"(総務)	35	石川美帆	"(広報)	15	西善弘
"(総務)	8	黒川仁	"(総務)	35	阪本覚	顧問(理事長)		三木一正
"(総務)	9	鄭幸男	"(総務)	35	中村亮太	"(校長)		斎藤興哉
"(研レ)	12	吉野太司	"(総務)	35	安田孝弘	"(教頭)	2	川副義文
"(総務)	13	水田堅	"(HP)	36	杉岡央基	"(前会長)	1	遠山寛
"(広報)	13	矢野善人	"(総務)	37	伊賀真紀子	"(前会長)	1	黒坂康夫
"(総務)	14	片山安孝	"(HP)	37	亀山信生	"(前会長)	1	黒川芳一
"(総務)	14	竹中邦夫	"(総務)	38	上野紘之			

白陵温故知新

第2回 「至高の宝物」



懐かしのスクールバス



1期生・校内幹事 芳木健憲

スクールバスは「園長バス」と呼ばれていた。毎朝、姫路広畑の園長宅を出発、途中便乗の先生がたを拾い、曾根駅経由で白陵に到着する。通学路で、生徒は背筋を伸ばして立ち止まり、脱帽、会釈でもって、バスに向かって大声で「おはようございます」のあいさつを送る。園長は窓から身を乗り出し、満足げな笑顔で、時には怒鳴り声の注

意も加わって、それに答える。創設以来二十年も続いた白陵の朝の光景である。ところどころそんな中、バスを見つめる生徒たちの目には共通するものがあつた。その日園長の授業を控えているものにとつて、園長がいるか否かが問題だった。地獄か極楽かの差があるのだ。ほとんどの生徒にとつて、園長は無茶苦茶怖い存在だった。授業中、迫力満点の往復びんたが何十発となく飛んでくる。それにもまして、およその世のものとはとても思えぬあの形相がたまらない。「ママシ」とか「クマ」とかのあだ名までついていた。

そんな園長なのに、不思議と卒業生たちはいやな思い出としてではなくて、懐かしい思い出として、白陵生だった頃を振り返る。厳しく怖い表面の膜を取り除くと、そこからは純粹で情熱家の、また、底抜けに上機嫌で満面笑顔の優しそうな園長の姿が見えてくるのだ。

現代ではほとんど体験不可能といえる底知れぬ怖さと、本物の優しさから醸し出されるあの趣きは、園長を知るものでな



第1回 修学旅行

れば分からない。二十四期生以前の白陵生が、世代を越えて、そんな人間味溢れる園長に出会い、同じ体験が持てたことはうれしい。特に理屈抜きの怖い存在の人が身近にいたという事実は、他のものには分かってもらえないが、この上ない共通の宝物だ。

園長を知らない期生の皆さんには分かりにくい思い出話になってしまったかもしれないことをお詫びします。

白陵会News

白陵会ホームページにリンクを貼って下さい!

「同窓生のホームページ」コーナーにリンクを貼っていただく
あなたの会社もしくは個人のホームページを、大募集します!

今後、ページを開くたびに、それぞれのホームページがアトラダムに出てくるよう、バージョンアップ予定です!

ぜひこの機会に、白陵会ホームページの同窓生リンク集を充実させていきましょう!お申込お待ちしております。

詳細は、下記URLより
「同窓生のホームページ」コーナーへ
白陵会ホームページ
<http://www.hakuryokai.jp/>



高2藤本理澄君
「IT簿記選手権」FE部門「優勝」
7月21日に大阪市で開催された第30回全国高等学校IT・簿記選手権大会に出場し、ソフトウェアの開発能力や知識を競う「FE部門」の個人の部で学校の優勝を果たしました。
FE部門は全国61校の459名が出場。商業科で専門的に学ぶ生徒を破って優勝しました。本当におめでとう!!

高2大西泰地君
「国際地学オリピック」出場!!
今年3月に高校生を対象とした日本地学オリピックが開催され、高校2年生の大西泰地君が最優秀賞に輝き、インドネシアで開催される国際地学オリピック(9月19日、28日)に日本代表として出場します。
日本代表に選ばれるまでに、一次試験(筆記)、二次試験(石の鑑定、グラフの読み取り等)、最終面接を経て、代表4名の1人に勝ち残りました。

第3回 東京白陵高校同窓会
の開催について
平成22年2月20日(土)に東京渋谷で同窓会を開催しました。今回も115名もの参加があり、白陵会、白陵高校からもご出席いただき、ありがとうございます。また、岡山白陵の大森教

白陵会物故者

吉田 卓校長先生(理科)
(昭和四十七年四月、平成二十一年一月) 逝去
平成二十一年十一月

下村 貢先生(数学)
(平成三年四月、平成九年三月) 逝去
平成二十二年一月

馬場鉄夫先生(国語)
(昭和五十七年十一月、平成六年三月) 逝去
平成二十二年七月

心よりご冥福をお祈りします。

頭先生からは学校の近況をお知らせいただき、ありがとうございました。今回も最終和やかな明るい雰囲気での弾む会となりました。そして、石原信行さん(5期)、樋口強さん(6期)の飛び入りスピーチで一層盛り上がりました。

昨年11月にはTBS見学ツアーを行うなど、東京での活動も広がっています。また、今回、会長として6期生の田代裕さんにご就任いただき、さらに大きく交流の輪が広がるものと期待しています。

次回の開催日については現在調整中です。今後、詳細は白陵会のHPでご案内しますので、皆様、是非ご参加ください。(11期生 長澤 均)



同窓生初の 国会議員誕生
平成21年8月30日に実施された衆議院議員総選挙において、24期生の稲富修二氏(福岡2区)、29期生の岡田康裕氏(兵庫10区)が民主党から立候補し、見事に初当選。卒業生で初めての国会議員が誕生しました。
本年7月11日の参議院議員選挙において21期生の秋野公造氏が公明党(比例区)から立候補し初当選しました。今年の6月13日に行われた加古川市議会議員選挙において35期生の中村亮太氏が上位で当選しました。
今後の活躍を期待します。

住所変更連絡のお願い
住所を変更された際は、「同窓会名簿」巻末の異動通知連絡は「かき」か「同窓会ホームページ」の住所変更連絡をご利用ください。お知らせください。

第17回 りょうゆう会ゴルフコンペのご案内

例年多くの同窓生に参加いただき、盛大に開催しております。お誘い合わせのうえ、今年も多数のご参加をお待ちしております。

日時: 平成22年11月3日(祝)
場所: 福崎東洋ゴルフ倶楽部
申込み: 昭和住宅(株)りょうゆう会係
FAX.079-425-7555

これまでの参加者には、後日ご案内を郵送させていただきます。また、白陵会ホームページにも詳細を掲載しております。

退職教職員紹介 平成22年3月

東日出夫先生(社会)	昭和41年4月	44年間
原田正和先生(英語)	昭和48年4月	37年間
北本徹平先生(英語)	平成19年4月	3年間
萬(高杉)知江先生(英語)	平成19年4月	3年間
山本英理先生(社会)	平成21年4月	1年間
二階堂聖子先生(家庭科)	平成17年4月	5年間
石村晶絵先生(理科)	平成20年4月	2年間
梅原 愛先生(理科)	平成21年4月	1年間
中村 梓先生(事務)	平成19年4月	3年間
原田昇一先生(事務)	平成20年4月	2年2ヶ月間

編集後記

暑すぎた夏もようやく終わり、運動会や秋祭りの時期を迎えています。会員諸氏におかれましては、いよいよこの活躍の機会です。多岐にわたるご案内、ご出席をお待ちしております。

昨秋、白陵会名簿発行直前に飛び込んできた吉田卓校長先生の突然の訃報に白陵会関係者は驚愕し、大きな悲しみに包まれました。「巨匠」昭和58年7月15日、52歳の若さで忽然と身罷られた学園創設者故三木省吾園長先生の最期を思い出すにはおられない大変悔しく悲しい出来事でした。心よりご冥福をお祈りします。

さて、いつ頃から「新高」と呼ばれるようになったのか定かではありませんが、存続の通り白陵高校には白陵中学校からの6年間貫教育で進学してこられた生徒がいます。平成22年校入試を経て入学してこられた生徒は、白陵高校の卒業生数は76804人、白陵中学校の卒業生数は48897人、「新高」として高校に入学してこられた生徒は全体の約4割弱を占めています。注)1期生から3期生は全員高校から入学。中学1期生から3期生は全員高校から入学。注)1期生から3期生は全員高校から入学。注)1期生から3期生は全員高校から入学。

平成21年度 収支決算報告書
平成21年4月1日～平成22年3月31日 単位/円

収入の部	予算額	決算額	差異
前年度繰越金	7,762,905	7,762,905	0
会費収入	2,610,000	2,565,000	45,000
終身会費	2,610,000	2,565,000	45,000
臨時会費	0	0	0
総会費	0	0	0
会費外収入	5,000	2,327,985	△2,322,985
名簿収入	0	25,400	△25,400
広告収入	0	1,158,000	△1,158,000
利息収入	5,000	23,351	△18,351
雑収入	0	0	0
寄付金	0	1,121,234	△1,121,234
総会積立金繰入収入	0	0	0
合計	10,377,905	12,655,890	△2,277,985

支出の部	予算額	決算額	差異
事務費支出	125,000	36,555	88,445
消耗品費	20,000	0	20,000
印刷費	20,000	0	20,000
通信費	50,000	22,940	27,060
支払手数料	30,000	13,615	16,385
雑費	5,000	0	5,000
会議費支出	450,000	253,131	196,869
理事会費	200,000	183,882	16,118
役員会費	200,000	64,249	135,751
委員会費	50,000	5,000	45,000
事業費支出	2,510,000	1,435,884	1,074,116
総会費	0	0	0
会報発行費	800,000	823,564	△23,564
ホームページ作成費	210,000	210,000	0
卒業記念品費	350,000	292,320	57,680
慶弔費	1,150,000	110,000	1,040,000
備品費支出	0	0	0
OB会活動助成金	180,000	180,000	0
渉外費支出	50,000	75,000	△25,000
予備費支出	500,000	0	500,000
寄付金	0	0	0
小計	3,815,000	1,980,570	1,834,430
総会積立金	200,000	200,000	0
次年度繰越金	6,362,905	10,475,320	△4,112,415
合計	10,377,905	12,655,890	△2,277,985

平成21年度 会務報告

年月日	内容	年月日	内容
21.6.19	理事会	22.2.11	45期生卒業式
21.6.27	定例役員会	22.2.20	第3回東京白陵高校同窓会
21.8.22	広報委員会	22.3.12	理事会
21.11.6	理事会		